

第2章 外房線

待望の外房線への挑戦は、夏季休暇を利用して行なう。内房線踏破の際に蘇我駅＝千葉駅を、東金線踏破時に大網駅＝蘇我駅間をクリアしたので、実質の営業距離は安房鴨川駅＝大網駅間の70kmである。

第1節 8月10日（日）：安房鴨川～勝浦 快晴

安房鴨川(10:37)～安房天津(12:10)～安房小湊(13:10)～行川アイランド(なめがわ)～上総興津(15:50)～鶴原(うばら、16:37)～勝浦(17:35)

第1日目は、2003年8月10日（日）快晴の中での挑戦である。本来ならば、8月9日（土）を皮切りに歩こうと思っていたが、生憎台風が日本全土を通過し歩けず。南林間6時5分、新宿7時6分、千葉8時33分の安房鴨川行きの電車で安房鴨川駅に向かう。いつもの調子で、今回挑戦する大網駅以降の窓から見える風景に目を光らせて観察する。新しい発見であるが、蘇我駅から勝浦駅にかけて大半が複線になっているのにびっくりした。このことは、後で気がついたのであるが、複線に関する情報は、勝浦駅前で「外房線複線記念」に記載されていた。大網から御宿駅手前まで、ほぼ田園地帯（途中太東海岸あり）が続いていた。御宿辺りから山間に逃げ隠れして、青い海岸線が電車の窓から見えて来た。御宿と勝浦で沢山の乗客が降りた。今日は、茂原駅まで四つ木から来たという60歳位のご婦人と世間話をしながら電車での旅を楽しんだので、少なくとも茂原駅までは短く思えた。



※安房鴨川駅、安房天津駅への路

本日は台風一過で快晴に恵まれ、今年一番の暑さとなった。先週も天気がよかったと思うが、今日はそれ以上に真夏のウォーキングを楽しむには絶好の環境だった。つい、血が騒いで来た。安房鴨川駅には10時37分に到着。2年前の内房線走破時にこの駅は

来たことがあるので懐かしく思えた。太陽がほぼ真上にあったのと、海岸がどちらにあるのかわからず、駅前通りを右に進むべきか左に進むべきか躊躇したが、2年前の記憶が微かに蘇り左に進むことにした。結果的に OK であった。その先に勝浦に続く国道128号線があった。駅前の近郊には、日本生命の事務所や保養所があった。20数年前に来たことがある「鴨川シーワールド」を11時13分通過する。今日は久しぶりの好天でかつ日曜日でもあり、駐車場への誘導する係員は忙しそうだった。鴨川の山間から、余り聞こえてこなかった蝉も今日は、至るところの木々から遅い夏を挽回するかのようになり大合唱があった。よく聞くと、油蝉の他、秋の音連れを感じさせる「ひぐらし」の泣き声も聞こえて来た。11時半頃、鴨川の海岸に出て、海水に触れる。海水を十分堪能しようと思い、前進したところ、強い波が押し寄せて来て、瞬時に後ずさりしようとした時、足がもつれて尻餅をつく。手に一杯砂がこぼりつく。外房だけあり砂は綺麗だった。



※安房天津駅、安房小湊駅

安房天津には12時10分に到着。偶然にも下り電車安房鴨川行きが来る。この駅前には、先週同期会をした「福一」と同一名称の居酒屋があった。また、高松一高会のメンバーと同じ名称の「城戸」というバス停もあった。ランチタイム時間になり、磯料理屋に入ったところ、生憎満席であり、時間を惜しんで先を急ぐ。200m位続く「みいり歩道トンネル」を通り抜けると扇型に広がる小湊の海岸が見えて来た。沢山の人が「遅い夏」楽しんでいた。このトンネルと目と鼻の先（バス停寄浦）で、札幌味噌ラーメンの看板を目にしたので、ここで13時過ぎ昼食をとる。この店から10分位歩いた先に安房小湊駅があった。

日蓮トンネル、内浦トンネルを通過すると、勝浦市であった。節電なのか200m位続くトンネル内の中央は薄暗く足元がまったくわからず、50cm位の歩道幅があっても、足を滑らせてないようにするため、歩くのに時間を要した。でも、内房線に比べ全体的に車道と歩道が区分されており、歩きやすかった。境川トンネル、おせんころがしトン

ネルを通過したところに行川アイランド（なめかわ）があった。駅は道路に平行してあり、もう少しで見逃すところだった。駅名から判断して当初乗客の多い駅と思ったが、予想に反し、駅前には、行川アイランドの施設があったのみで、時間帯の関係かも知れないが、行楽客は全くいなく、寂しい駅前だった。



※行川アイランド駅、行川アイランド駅への路



※上総興津駅、鵜原駅への路

歩道の下に地中電線路がある細尾トンネル、藤之木トンネル、それから要子庵トンネルを通り抜ける。トンネルはいずれも 100m から 150m 位の長さだった。要子庵トンネル通過後上総興津駅への案内板を見かけたので、階段状の歩道をおり、上総興津駅を目指す。地図を確認したところ、行川アイランド駅から鵜原（うばら）駅手前にかけて、山よりの国道 128 号線と房総街道がほぼ平行にあった。このうち、上総興津駅は房総街道に面していた。この海岸線一帯は南房総国定公園に指定されている。15 時 50 分に上総興津駅に着く。この駅の建物も切りはぶ作りの瓦葺で、安房鴨川駅、安房天津駅、安房小湊駅と似ている感じであった。

興津歩道トンネル、鵜原トンネル、向台隧道、寺の谷歩道トンネルを通る。すると、国道 128 号線に沿った 20m 位下に鵜原駅を見つける。写真を撮ろうとしたところ、東京行きの特急電車（16 時 37 分発）が来る。瀬の谷隧道、瀬の谷第 2 歩道トンネル（1992

年10月完成、67m)、鳥越トンネル、松前歩道トンネルを通り抜けると、前方に勝浦海岸が広がる。秋の訪れなのか、鳥越トンネルを抜けた地面に目をやったところ、来るべき冬に備えて、蟬の亡骸に群がるせつせと働く蟻の光景があり共感した。



※鵜原駅



※勝浦駅

新串浜トンネルを越えた先は、勝浦の海岸が広がっていた。20名位の若者が波乗りを楽しんでいた。「潮騒の やっと来た夏 水の音」 幾つかの高層ホテルが海岸線にあった。勝浦駅には17時35分到着。明日も来る予定であったので宿泊も考えたが、種々の事情から断念する。効率的に考えれば、宿泊するのが妥当であったが、ウォーキングは天気が左右するしコストも絡むので宿泊を前提とするプランは難しい。勝浦18時30分の電車で、家路に向かう。今日は、木佐貫の投球が冴えず、ヤクルトの鈴木健・土橋等に打たれ、6失点で降板。川相が511犠打の世界記録に並ぶ。試合の方は、仁志・阿部の活躍で11対7と逆転するが、中継ぎ。終盤の投手が頑張れず、11対11に引き分けで終わる。今日の営業距離は22.4Km、万歩計は48,897歩だった。自宅には21時55分到着。

第2節 8月11日(月)：勝浦～太東 晴れ

勝浦(10:00)～御宿(12:14)～浪花(なみはな、14:00)～大原(14:55)～三門(15:55)～長者町(16:33)～太東(たいとう、17:37)

第2回目は、2003年8月11日(月)で、昨日に引き続きの挑戦である。今日の目標は、勝浦駅＝上総一ノ宮駅 27.9Km である。昨日同様、千葉駅 8時 33分の安房鴨川駅行きに乗る。今日は平日ダイヤのため、いつも通勤に使用している電車(南林間発 6時 7分)で千葉に向かう。途中錦糸町で快速に乗り換え、千葉駅到着が 7時 51分であった。これと同時刻に勝浦行きの 7時 51分があったが、連結していないため乗れず。千葉駅で 40分程度待ち合わせとなる。今日も、安房鴨川行きの電車(8両編成)には、海水浴客であつという間に満席となった。

今日は、平日にもかかわらず、昨日より乗客が多かった。昨日はボックス席に 2名であったが、今日は 4名となった。隣に 20歳位の 2人連れの女性が乗って来た。御宿の海水浴場に向かっている様子であった。今話題のおしゃべりが聞こえて来た。御宿までそういう意味で退屈はしなかった。私は、今日のウォーキングコースの確認と今後のウォーキング場所を時刻表で確認するのに時間を費やした。水上駅＝渋川駅間(上越線)、水戸駅＝鹿島神宮駅(鹿島臨海線)、高萩駅＝水戸駅間、それから久留里線等を研究することができた。なんとか日帰りでも挑戦できるような気がしてきた。



※御宿駅、御宿海岸

今日も、昨日に引き続き暑くなりそうな空模様であった。勝浦駅には 10時丁度に電車到着。ウォーキングは、料金の精算や記録の手続きで、10時 10分のスタートとなった。今日も駅前で行くか左に行くか躊躇したが、海岸の方向を確認し、御宿の方向を見定める。駅前に国際武道大学の看板(徒歩 15分)があった。勝浦高校(10時 32分)の先から、今日もトンネルが私を歓迎してくれた。出水歩道トンネルを皮切りに新

官隧道、部原隧道を抜けると第2の勝浦海岸が広がっていた。遠くに御宿の海岸も見えて来た。今日も、海岸に下りて海水に触る。波の動きを昨日勉強した成果で、尻餅をつくような醜態はなかった。よく観察すると、3回から4回に一度強い波が押し寄せて来る。引き潮だったので、海岸線は少なくとも20m位は広がっている感じであった。砂浜は特にゴミもなく綺麗だった。

東漁見（うおみ）隧道、部原隧道を通り、御宿の海岸線（11時50分）に出る。浜辺には晴海休憩所、大和丸休憩所、白鳥丸休憩所があった。学生アルバイトが休憩所への呼び込みで忙しそうにしていた。海岸線の中央辺りに来たとき、「月の砂漠」の12時のサイレンが聞こえて来た。地図のガイドによると、次の通り。

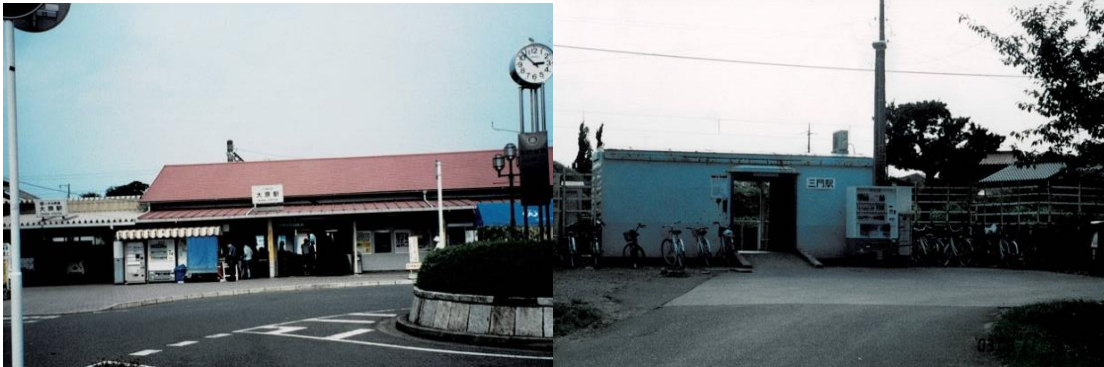
童謡「月の砂漠」の舞台になった御宿。房総半島の中でも屈指の美しい海岸が続く。岩和田、御宿中央、浜の3つの海水浴場がある。小高い丘の上に建つ白い「メキシコ記念塔」が、街のシンボル。「月の砂漠記念館」もある。

私が、見た限り、海水浴場は広大であり、総合的に見て房総随一の海水浴場であると思えた。御宿駅には12時14分到着。駅前には、南総タクシーの営業所があった。今日は、御宿町歴史民俗資料館は月曜日のためか休館日だった。今日も磯料理を食べようと試みたが、歩く先に適当な店が見つからず入れず。

鳥止歩道トンネル、矢ノ根歩道トンネル（58m）を通り、浪花・大原駅を目指す。内房線は木更津位まで海岸一色であるが、外房線は海岸線と田園風景が一带となっている。稲は黄色くなりかけていた。稲刈りが間近である。今日は、海の他山も楽しめた。蟬の大合唱もあった。このトンネルを越えると、大原町であった。みかん狩りの看板があった。専修大学御宿セミナーハウスの看板の先の「おいけ食堂」（13時）に入り、焼き魚定食を食べる。



※浪花駅、浪花駅への路



※大原駅、三門駅



※大原駅（2024年3月20日（水）撮影）

浪花駅には14時到着。第一房総街道踏切（14時37分）を通り、JR線の右手側に出る。大原駅には14時55分到着。隣にいすみ鉄道が繋がっていた。大原踏切を越えて、再びJR線の左側に出る。15時55分、三門駅に到着。臨時にできたのか、本が一番貧弱な駅建物だった。時間も16時を回り、このペースでは上総一ノ宮駅にとっても到達できそうになかった。国道128号沿線から外れた、長者町駅と大東駅の両駅をカットするか否か迷った。国道128号線にある麻雀博物館は逃す分けにはいかないし、おまけに天気が怪しくなり、カットに拍車がかかった。でも、自分の信念を通し、カットしないコースを選定した。私が持参している地図はそれ程詳しくはないので、長者町駅への道に骨が折れた。通行人に聞き、長者町駅にはほぼ予定通り着くことが確認できた。16時33分だった。それから2.8Km先の太東（たいとう）駅を目指す。



※長者駅、太東駅

地図の読み方に錯覚があり、ここよりミステリーゾーンに突入する。ひとつ間違うと現在位置がわからなくなり、迷いに迷いを重ねる。この時も丁度その状態であった。夷陽川が絡み地形を複雑にしていたのは事実である。地底の中に別世界が広がっている感じだった。数人に聞き、やっとのことで、15時37分に太東駅に到着する。まだ、1時間位歩いて、3.1Km先の東浪見（とらみ）駅を目指そうと思ったが、迷いで精神的に困憊し、この駅で打ち止めることにした。18時2分の電車で家路に向かう。自宅には21時27分に到着。本日の営業距離は、21.6Kmで当初に比べ6Km位短縮となった。その分3回目のウォーキングにしわ寄せが来るが仕方がない。万歩計は49,189歩だった。

第3節 8月13日（水）：太東～大網 曇り／雨

太東(9:30)～東浪見（とらみ、11:30）～上総一宮(12:30)～八積（やつみ、13:55）～茂原(15:25)～新茂原(16:50)～本納（ほんのう、17:50）～永田(18:35)～大網(19:15)



※太東駅へのアクセス

外房線の最後の仕上げは、2003年8月13日（水）となった。本来ならば、この時期旧盆のため、香川県の実家に帰り、先祖と5年前に他界した弟の墓参りをしているところだが。愛犬セブンがいるため、私か家内かそれとも子供の誰かが留守居役で残る必要がある。今回は、私と大学受験を控えた三男坊が残ることになった。それで、今日のチャンスを得た。

朝5時に起床し、天気予報をテレビ・新聞で確認する。何とか今日は曇りで歩けるとの情報だったので、早速準備にかかる。一昨日と同様なダイヤで太東駅に向かう。本日の営業距離は、太東駅＝大網駅間の26.4Kmである。しかしながら、本日の目玉である「麻雀博物館」に立ち寄りたかったため、更に4Km位が加算できる。したがって、今日は少なくとも30Km距離を歩く必要があった。今日は、天気がいまひとつであったため、日・月のように海水浴場に向かう客はほとんどいなかった。だが、偶然にも一昨日見かけた3人連れの高校生グループ（男）が安房鴨川駅行きの電車内にいた。世間は実に狭いものである。

電車は太東駅に9時30分に到着する。途中、電車の窓越しから見た限り小雨模様であったが、太東駅に近づくにつれ、空がだんだん明るくなりつつあった。太東駅に着いた頃、薄日がさして来た。東浪見駅に向かったの出発は9時35分となった。9時40分後田踏切を渡り、1時間かけて麻雀博物館のある国道128号線（房総街道）に出る。その交差点は太東灯台入口だった。今日は海を見る機会をないと思ったが、太東海水浴場でその機会を得た。天気がぱっとしないにもかかわらず、若者達が波乗りを楽しんでいた。とうとうこの近郊で傘が必要になる。

待望の麻雀博物館には10時40分頃到着する。国道から100m位坂を上ったところにあった。200円の入館券が必要だった。2階建ての建物で、麻雀関係の資料が豊富にあった。中国の歴史や欧米の記事もあった。日本のルーツは「1791年（寛政3年）、房総で馬吊紙牌が見つかる」とあり、麻雀年表に記載されていた。種々の牌が展示されていた。関西の方で流行している、三人打ち用の卓を初めて見た。佐賀新聞で阿佐田氏や福地氏等の雀友記事を取りあげていた。麻雀ビデオもあった。11時前にこの博物館を後にする。雨が少し強くなっている感じだった。



※東浪見駅、麻雀博物館（東浪見駅への路）

一昨日、長者町駅、太東駅をカットするコースを選定していたならば、少なくとも休館日にぶつかり入館できなかった。そういう意味でいい選択をしたものだ。一方で、長者町駅、太東駅をカットしていたならば、私のウォーキングの最大の醍醐味であるミステリーゾーンへの投入ができなくなり、つまらないウォーキングになるところだった。東浪見駅前で 11 時 30 分を知らせるアナウンスがあった。東浪見駅前には、東長者町駅から東浪見駅にかけての「関東ふれあいの道」の案内板があった。外房線踏破して感じたのであるが、私にとって長者町駅と東浪見駅の区間が一番面白かったような気がする。

<麻雀博物館>

住所：299-4502 千葉県夷隅郡岬町中原 1 - 2

0470-87-8886 (FAX : 0470-87-8806)

開館時間：10 時～16 時 30 分

休館日：毎週月曜日（月曜日が祭日の場合は翌日が休館日）

最寄り駅：東浪見より徒歩 20 分

<関東ふれあいの道>

東浪見駅 → 1.5Km : 九十九里浜東浪見海岸 →

ハイキングコース太東漁港 → 1.7Km ; 休憩所 →

1.9Km : 太東埼灯台 → 1.6Km : 太東海岸植物群落地 →

2.2Km : 江東橋 → 1.3Km : 長者町駅



※上総一宮駅、上総一宮駅への路

12時20分、JR線から30m位上がった128号線に沿ってある一宮聖苑を通り、上総一ノ宮駅には12時30分到着する。駅前の魚料理「タカラ亭」で刺身定食を食べる。新鮮で分厚い刺身をたらふく食べさせてもらった。サービスとして、煮魚があった。2日間の心残りをクリアすることができた。一宮は新鮮な魚の他、梨の出荷も盛んな感じである。赤橋の一宮橋を通り、八積（やつみ）を目指す。13時10分、非常に縁起のいい長生村（ちょうせい）の看板を目にする。この時代市制をしく自治体が多くなっている傾向にあり、村のつく地名は珍しく思えた。「長生」という字に預かって、本納駅への途中、長生病院があった。長者町駅や太東駅と同様、八積駅も国道128号線から2Km位離れたところがあり、曲がる箇所を神経を費やした。時間の関係から割り出し、勘で八積駅への道を見つける。13時35分、長生村立八積小学校を見てほっとした。八積駅には13時55分に着く。



※八積駅、八積駅への路

八積駅からは、ほぼJR沿線に沿い茂原駅を目指す。途中、東茂原という交差点に出くわすが、この交差点が国道128号線とは気づかず前進し、若干無駄な動きをする。広大な敷地に弟がかつて勤めていた日立製作所の事務所があった。野巻戸という交差点

から国道 128 号線に復帰する。茂原駅には 15 時 25 分到着する。この茂原駅には、十数年前に 2 回ゴルフに来たことがあり、懐かしく思えた。外房随一の町並みであった。茂原公園まで 19Kmの看板を見、大網駅までの距離も気になったが、挑戦することにした。藻原寺に面して茂原公園があった。藻原山と書いた建物は 15m位の高さでユニークな造りをしていた。今日は旧盆で藻原寺には先祖の墓参りの人が大勢いた。公園への道がわからず、数人の墓参りの人に聞いて、やっと 16 時過ぎ茂原公園に辿り着く。地図のガイドにあった赤い橋を見つけ記念写真を撮る。池では数十羽の鴨が泳いでいた。時計を見たら、16 時 15 分だった。これから、約 11Km先の大網駅を目指すこととする。順調に言って、後 3 時間はかかるだろう。



※茂原駅、茂原公園

新茂原駅は J R 線の北側が道路であり、18 万分の 1 の地図にはそのような細かな記載はなかった。通行人に偶然にも曲がる手前で聞き、時間を節約できた。16 時 50 分新茂原駅に着く。川代踏切を渡り、国道 128 号線に戻る。本納への道が道路標識にあったので、これよりこの道に入る。17 時 50 分、本納駅に着く。



※新茂原駅、茂原公園を背景に



※本納駅、永田駅

地図を確認したところ、この公道を真っ直ぐ行けば、永田駅、大網駅に行ける見通しで、何とか目標を達成できると確信した。18時から巨人—中日戦を聞きながら歩く。工藤・山本の投げ合いで面白い試合であったが、久保が谷繁に3ランを浴びあっけなく負ける。18時35分永田駅に到着。辺りはかなり暗くなっていた。これからのウォーキングは日没が段々早くなり、ウォーキングの止めに細心の注意が必要となる。安心感でお腹が空いてきたので、朝千葉駅で買ったパンを食べながら進む。19時15分大網駅に到着する。暗かったが、昨年(2002年)東金線走破の際来たことがあるので懐かしく思えた。19時25分の電車で自宅を目指す。自宅には22時8分に到着する。今日の万歩計は70,882歩だった。

今日は、麻雀博物館の発見、上総一ノ宮で美味しい刺身定食、それから待望の外房線の走破ができ充実した一日となった。それに、このシリーズ風光明媚な勝浦海岸・御宿海岸等を見物できたことに加え、長者町駅から太東駅まで自分をミステリーゾーンに投入でき最高の夏休みを過ごすことができた。本日を持ち、当面の目標である2,000Kmに23Kmと迫った。70.4Kmの営業距離を今回のように、すばやく踏破したのは今回が初めてである。右足の小指にできた豆が裂け、今日のウォーキングに際し迷ったが、挑戦してよかった。また、このシリーズ初めて全駅の撮影に成功することができた。



※大網駅